

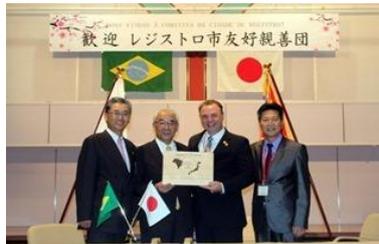
姉妹都市提携35周年レジストロ市から友好親善団が来市

2015年は1980年の姉妹都市提携から35周年の記念すべき年となり、中津川市にて記念式典を開催するにあたり、4月14日から17日までの4日間、姉妹都市レジストロ市から市長をはじめとする19名の友好親善団が中津川市を訪問されました。

4月14日に中津川市へ到着した友好親善団を迎え、中津川市姉妹都市友好推進協会主催による歓迎夕食会を市内神坂のホテル花更紗にて開催しました。

4月15日には、市内レジストロ通りを見学し、中津川文化会館にて杉の子幼稚園児や市職員らが盛大に出迎え、その後中津川市長や市関係者とともに姉妹都市会議を開催しました。

午後からは(株)トキワ落合工場、美濃工業(株)坂本工場を見学、鉱物博物館では過去にレジストロ市から贈られた紫水晶を見学しました。



夜には姉妹都市提携35周年記念式典を中津川商工会議所で開催し、姉妹都市関係者、団体関係者、市関係者ら約100名の参加者は友好親善団24名と交流を深めました。

式典ではレジストロ市と中津川市の友好交流に寄与された功績を称え、レジストロ市から名誉市民章が、楯公夫市議と原満夫氏に贈られ、中津川市から特別名誉市民章がレジストロ市議会議長をはじめ4名の方に贈られました。また、阿木太鼓保存会の皆さんによる歓迎の太鼓では、友好親善団メンバーも加わり日伯太鼓の共演となりました。



4月16日には、神坂小学校にて三味線の授業を見学、友好親善団は三味線の弾き方を小学生に教えてもらうなど、ふれあい交流を行いました。

その後、中津川青年会議所メンバーによる日本文化の体験として、関市の刃物センターにて居合切り実演の見学などを行いました。

夜には、ロータリークラブ関係者らとともに交流会を開催し、グローバル補助事業の報告などが行われ、ジカブキプロジェクトによる地歌舞伎体験として友好親善団の4名が白波五人男的一幕を演じ、参加者からは拍手とともにたくさんのおひねりが投げられていました。



4月17日には、お別れ朝食会の後、中津川を出発し、松本城などを見学した後、東京に到着、翌日には成田国際空港からブラジルへの帰国の途に就きました。